

2017年3月31日

奨学金支援プログラム「カナエール」終了について

NPO 法人ブリッジフォースマイル
理事長 林 恵子

いつも児童養護の子どもたち、そして当団体をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

さて標記の件、2017年度を以って当プログラムを終了することとなりました。以下のとおり、昨今の社会情勢の変化などプログラム終了の決断に至った理由、今後当団体が目指す方向性について詳しく説明をさせていただきます。

◆プログラム終了の理由

カナエールは、児童養護施設等を退所する子どもたちが経済的な理由から夢を諦めることがないよう、奨学金支援で進学道を拓くことを目指したプログラムです。学費や生活費全部を出してはあげられないけれど、少しでもアルバイトを減らし時間の余裕が持てるよう、卒業まで毎月3万円の奨学金を支給してきました。また、お金の支援だけでなく、卒業までの苦しい生活を乗り越える強さを持ってもらえるよう、意欲面からの支援も行ってきました。

嬉しいことにカナエールを始めてから7年間で、企業や財団などによる奨学金支援は格段に増えました。大学でも学費減免などの制度が整いつつあります。また、「子どもの貧困」が社会問題として注目される中、昨年3月には厚生労働省が社会的養護の子どもたちへの生活費を実質給付することを発表、12月には文部科学省が経済的に困難な進学者たちへ返済不要の奨学金を給付することを発表し、国による公的支援が大きく前進しました(制度の詳細は参考資料1をご参照ください)。制度の浸透は段階的であるにせよ、「お金」が理由で進学を諦めなければいけないという問題は、今後解消されていくと予想されます。

NPOは公的支援の届かないところへの支援や、潜在的な問題を顕在化する役割を担っていると考えています。当団体は、自立支援、退所後支援が確立されていなかった時から、仕組みを作るところにチャレンジしてきました。私たちがカナエールで取り組んだ、児童養護施設の子どもたちの進学のための資金不足という問題に対し、国を含め多くの取り組みが始まったのであれば、私たちはまだ解決策の見つからない問題に限られた資源を集中していくべきだと考えました。

◆今後の支援活動

初回から今年度コンテストまでのカナエルンジャーに対する支援は、これまで通り卒業まで継続いたします。カナエルンジャー全員の卒業までの奨学金については、開催年度毎に必要な奨学金を積み立ててきておりますのでご安心ください。定期的な面談など、卒業までの見守り支援も続けていきます。

カナエール横浜につきましては、横浜市こども青少年局との共催という形で実施してまいりました。奨学金の支給、および卒業までの見守り支援は、事業受託の一環として今後も継続してまいります。

これから、中退予防および中退者への支援は、ますます強化していく必要があります。なぜなら、施設退所者の中退率(約25%)は、全国平均の約3倍と高く、その理由はお金の問題だけではないことを私たちはカナエールの経験から知っているからです。経済的なハードルが下がったことで、将来の目標がはっきりしないまま、とりえず進学の道を選ぶ子どもも増えるでしょう。つまり、中退者がますます増える可能性があります。中退を

予防するためには、何のために進学するのか、早期からのキャリア教育が欠かせません。また、中退してしまった場合でも就労支援など生活の立て直しが必要です。

また、生活費貸付支援は、大学等を卒業後に継続して就労することが返済免除の条件となっていることから、施設退所後の支援期間はますます延びていくことが予想されます。いざ困ったときに頼れる存在となるために、当団体は何をすべきか。何ができるのか。経済的支援だけでは解決しない問題、退所者が必要とする支援を徹底して考えていきます。これからの当団体の活動、新しいプログラムにご期待ください。

◆これからも応援の輪を

カナエールは 7 年にわたり計 124 名の奨学生カナエルンジャーを迎えることができました。すでにコンテストに出場し、大学等へ進学したカナエルンジャー 96 名に毎月奨学金を届けることができました。カナエルンジャーたちに届けられる奨学金は、総額 1 億 4,300 万円にもなります。

これもひとえに多くみなさまに様々な形でご支援いただきましたおかげです。この 6 年間のご支援者は、数えられるだけでも、ボランティア延べ 560 名、奨学金継続サポーター 460 名、来場者延べ約 5000 名、協賛企業は 78 社にも及びます。これだけ多くみなさまに応援していただいたカナエールを終了することは、寂しくもあります。しかしながら、これは多くの方のご関心、ご支援が後押しとなって大きな社会変化を起こすことができた結果と考えています。生まれや育ちのハンディキャップを抱えた子どもたちに、大学進学の大きな希望をつなぐことができました。これほど幸せなプログラムの終了はありません。最後の年となるカナエール 2017 では、3 拠点で合計 24 名のカナエルンジャーが舞台に立ちます。ぜひ、最後のスピーチコンテストにご来場いただけましたら幸いです。

一方で、子どもたちが抱える問題は、お金の面だけではありません。将来に向けて「安心感」と「希望」を持てるかどうか、大きな鍵となります。そのためには、早期からのキャリア教育、施設等を巣立った後の継続的な支援体制、そして多くの応援者の存在が欠かせません。

何卒引き続き、児童養護の子どもたち、そして当団体へのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

◆お問い合わせ先

ご質問は、以下の担当までお願いいたします。

植村百合香 yuemura@b4s.jp

以上

《参考資料1》

社会的養護の子どもたち向け奨学金一覧

ブリッジフォースマイル調べ

カナエール	一時金	継続金	給付総額	備考
	30万	3万/月	1,740,000	コンテスト参加が受給条件。毎年25人程

公的資金援助（卒業までの継続奨学金は、4年制大学に進学した場合で計算）

実施主体/名称	一時金	継続金	給付総額	備考
文部科学省 給付型奨学金制度	入学時24万	4万/月	2,160,000	2017年退所者より実施。進学先を通じて申請。支給人数上限明記ナシ
厚生労働省 自立支援 資金貸付事業		家賃支援(上限5万/月) 生活支援費(5万/月)	4,800,000	2016年度より施行。募集人数上限無し。卒業後5年就労で全額免除/就労中は支払い猶予
厚生労働省 大学進学 等自立生活支度費	支度金276,190		276,190	施設長、里親、児童相談所長の意見に基づき、各都道府県及び指定都市が要否を判断
東京都 大学等入学支度金	大学上限70万 各種学校60万		700,000 600,000	東京都の全措置児童に適用
横浜市 資格取得等支援	大学等入学時30万	3万/月	1,740,000	横浜市の措置児童対象。継続金はカナエール横浜参加者対象

※多くの自治体で、独自の進学支援、奨学金支援を行っている。

民間の主な継続支給奨学金（卒業までの継続奨学金。4年制大学に進学した場合で計算）

実施主体/名称	一時金	継続金	給付総額	備考
日本財団夢の奨学金	授業料全額 (320万として計算)	住宅補助(上限6万/月) 生活費補助(5万/月)	8,480,000	支給対象20-30名
西脇基金		2万/月	960,000	支給対象東京都内70名前後
読売光と愛・郡司ひさる 基金奨学制度		50万/年	2,000,000	支給対象毎年10名程
タイガーマスク基金	入学時12万	6万/年(2年目以降)	300,000	支給対象毎年若干名
ゴールドマン・サックス・ ギブズ・コミュニティ支援 プログラム	転居費用(上限32万) 授業料全額 (320万円として計算)	生活費 (上限84万円/年)	6,880,000	支給対象毎年3名程。 他の補助金、奨学金で賄える分を差し引く
メイスン財団奨学制度		50万/年	2,000,000	支給対象毎年3名程
公益財団法人創通育英 財団	一時金10万	5万/月	2,500,000	支給対象 関東へ進学の子 8名程度
資生堂児童福祉奨学生 産経新聞 明日への旅立ち基金		50万/年	2,000,000	支給対象児童福祉の学生5名程 支給対象東日本地域 毎年若干名程
畠山文化財団		120万/年	4,800,000	支給対象理工系の学生2名程
余慶会		50万/年	2,000,000	支給対象福岡県内の進学者毎年40名程

主な一時支給の奨学金

名称	内容
両宮児童福祉財団 修学助成	入学金実費全額。但し、他の機関から入学金助成を受けている者、入学金免除の者は対象外
JX-ENEOS児童養護施設・母子生活支援施設・里親家庭奨学助成	入学時に10万円を助成
朝日新聞 児童養護施設・里親家庭の高校生進学応援金	入学金実費(上限100万円) 対象は東京都以外20名程
アトム基金 進級応援助成制度	進級時に3万円を助成
楽天 未来のつばさ 自立奨学支援資金	進学・就職の支度金として一人15万円(返済不要)。対象250人
鯉淵記念母子福祉助成事業	上限20万円 対象は施設で生活する母子世帯等 40名
あすのば入学・新生活応援給付金	5万円 対象は自立を予定している高校生
公益財団法人明光教育研究所給付型奨学金	上限 70万 を分割 (低学年向けの枠と合わせ) 定員100名程度
施設や里親家庭で暮らしている若者への入学支援金	入学時に上限50万円を助成

大学が実施している奨学金等制度(一部)

名称	大学名
経済援助学費減免奨学生A(及び児童養護施設卒)	日本福祉大学
コミュニティ福祉学部田中孝奨学金	立教大学
チャレンジ支援奨学金制度	日本社会福祉事業大学
紺碧の空奨学金	早稲田大学
和泉短期大学児童福祉奨学金	和泉短期大学
沖縄大学後援会支援特別奨学金	沖縄大学

＜参考＞

2013年度、高校卒業後に児童養護施設を退所した人数 1721人
2013年度、大学、専門学校に進学した人数 390人 (進学率22.6%)

《参考資料2》

カナエールがこの6年間で支援した児童養護の子どもたちは、合計100人になりました。

2017年度の奨学生24人を含めると、124人になります。

子どもたちの状況は、以下のとおりです。

奨学生カナエルンジャーの現状

2017年3月現在

東京	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
進学中(給付中)		1	2	4	7	9	23
進学中(休学)							0
卒業	6	5	7	5	3		26
中退	4	3	1				8
進学せず						1	1
コンテスト出場せず				1			1

横浜	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
進学中(給付中)				2	1	8	11
進学中(休学)							0
卒業				6	4		10
中退				1	1		2
進学せず				1			1
コンテスト出場せず							0

福岡	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
進学中(給付中)				1	1	4	6
進学中(休学)					1		1
卒業				3	2		5
中退					2	2	4
進学せず				1			1
コンテスト出場せず							0

合計	2011	2012	2013	2014	2015	2016	合計
進学中(給付中)		1	2	7	9	21	40
進学中(休学)					1		1
卒業	6	5	7	14	9		41
中退	4	3	1	1	3	2	14
進学せず				2		1	3
コンテスト出場せず				1			1

※横浜卒の奨学金は、横浜市社会福祉基金から拠出

※東北卒は東京卒に含む

※東日本大震災の、緊急支援はのぞく(8名全員卒業)

※中退率14% (全国施設退所者は、約25%。B4S調べ)

※2016年度は、2017年4月入学予定者を含む

カナエール資金状況（東京・横浜）

<2017年1月現在>

※2017年度以降は、予測数値です。

※カナエールの事業年度は、9月-翌8月です。

収入	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
寄付金収入	26,254,940	5,839,840	9,276,814	27,957,866	31,170,827	30,763,669	25,000,000	-	-	-	-	-
事業収入	575,000	623,000	1,000,138	4,669,665	9,545,950	12,769,404	12,000,000	4,740,000	2,880,000	1,440,000	0	0
その他	5,965,129	504,059	102,173	111,246	1,952	1,001,339	100,000	2,000	2,000	2,000	2,000	0
合計	32,795,069	6,966,899	10,379,125	32,738,777	40,718,729	44,534,412	37,100,000	4,742,000	2,882,000	1,442,000	2,000	0

※カナエール横浜は、支払い年度ごとに横浜市より奨学金を預かるため、2018年度以降も事業収入として計上。

支出	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
奨学金	12,270,000	9,210,000	10,290,000	17,250,000	13,230,000	15,690,000	17,630,000	14,670,000	13,520,000	5,110,000	1,840,000	0
事業費1	4,786,372	2,731,301	970,196	1,842,531	5,202,820	5,929,008	6,000,000	0	0	0	0	0
事業費2	0	0	30,000	80,000	80,862	120,000	140,000	110,000	100,000	50,000	20,000	0
人件費	600,000	2,400,000	3,175,200	4,173,700	6,536,500	6,847,200	7,000,000	3,000,000	2,500,000	1,000,000	500,000	0
合計	17,656,372	14,341,301	14,465,396	23,346,231	25,050,182	28,586,208	30,770,000	17,780,000	16,120,000	6,160,000	2,360,000	0

※事業費1はトレーニングやコンテスト運営に関わるもの、事業費2はコンテスト後から卒業までの継続支援(面談等)に関わるものです。

奨学金ファンド	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
奨学金(積み立て)	12,450,000	9,150,000	12,810,000	23,910,000	22,410,000	28,700,000	22,110,000	-	-	-	-	-
奨学金(取り崩し)	8,430,000	8,130,000	9,930,000	16,890,000	13,230,000	15,690,000	17,630,000	14,670,000	13,520,000	5,110,000	1,840,000	0
奨学金残金	4,020,000	5,040,000	7,920,000	14,940,000	24,120,000	37,130,000	41,610,000	26,940,000	13,420,000	8,310,000	6,470,000	6,470,000

※2021年度における残金は、中退した人に支給されなかった金額分です。カナエールの継続支援、および他の支援活動で活用させていただきます。

東日本大震災緊急支援

奨学金ファンド	2011	2012	2013	2014
奨学金(積み立て)	5,640,000	-	-	-
奨学金(取り崩し)	3,840,000	1,080,000	360,000	360,000
奨学金残金	1,800,000	720,000	360,000	0